

蠟梅 Now

梅雨が明けるのを待っていたかのように今、列島は猛暑の最中に在る。各地からは連日のように真夏日(最高気温が 30℃以上)や猛暑日(最高気温が 35℃以上)の報告が届き、高齢化の進行もあつてか、熱中症に対する注意喚起がひっきりなしに発信されている。

例年のことのように、梅雨末期の集中豪雨による災禍の、連綿と続く悲報に心が痛む。今年もまた、西日本、とりわけ中国地方から九州北部に悲惨な爪痕を残し、20 を超える尊い人命が奪われた。

科学技術の進歩は続くが、防災一つをとってもその備えの予測すらままならず、自然の脅威の前には未だ赤子同然の状況にある。

科学技術政策研究所が調べて最近公表した「科学技術の実現時期予測」によると、「M6 以上の地震の発生時期を 1 年以内で予測する」のは 37 年としている。自然に対してはかくも無力なのか、やんぬるかな。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、人間にとって時に凶器に変貌することもある梅雨を恵みとして、青々と茂る青葉の機能を存分に働かせ、来る開花に備えてエネルギーの蓄積に余念がない。自然との調和、協調の妙とでも言うのか。

結実したその姿形はやや異様であるが、子孫繁栄を願うかのようにその形態から発する主張には余所者は寄せ付けない逞しさともいうようなものがあり、自己防衛へのえもいわれぬ共感すら覚える。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ftfk.or.jp
URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>